

職業パフォーマンス向上のためのスポーツ歯科医学的アプローチ

自衛隊中央病院

第3 歯科部長 佐々木良紀

成人集団の健康管理を行うに当たって、従来より多くの試みが行われてきた。口腔衛生管理についても、歯周疾患と循環器疾患を中心とした生活習慣病との関連が注目されて以来、特にその重要性が広く一般に周知されている。このような現状の中で、口腔環境の改善を通して全身の健康管理に携わり、全身状態をよりよい状態に改善する、あるいは全身の持つパフォーマンスを更に発揮できるようにコントロールしようとする試みは、今後、運動選手を対象にするばかりでなく子供からより高い QOL を求める老人に至るまで社会全般のニーズとして、歯科医学が向かう一つの方向性を示すものと思われる。そして、これらはまさにスポーツ歯科医学分野が大きく関与すべき命題でもあろう。

以前より、私が所属する海上自衛隊では、様々な職域を持つ成人集団という特性から健康を管理、維持することはもちろん、各集団の能力を最大限に引き出すための努力が広く行われてきた。これは、歯科医療の分野においても例外ではなく、私たちがまた微々たる試みではあるが長年にわたり、隊員やその所属する集団のパフォーマンス向上を目指した取り組みや調査研究を行ってきた。この中には咬合の挙上と運動能力といったまさにスポーツ歯科医学的なものから、特殊環境がダイバーにもたらすストレスと唾液成分、あるいは歯周疾患や顎関節症と管楽器演奏との関連まで一見してスポーツ歯科医学とは無関係のように見える内容のものまで含まれている。しかしその一つ一つの試みは、先にも述べた自衛隊に所属する隊員あるいはその所属集団の持つ能力向上を目指すという一つの命題に沿って行われてきたものである。今回はこのような観点から、従来スポーツ歯科医学が掲げる範疇を少し広げ、海上自衛隊で行ってきたいいくつかの試みを紹介するとともに、スポーツ歯科医学的アプローチが単にスポーツマンの能力向上のみならず更に幅広い職業分野におけるパフォーマンスの向上に重要であろう事を私のつたない経験を含めお話ししたいと思う。

佐々木良紀（ささきよしのり）

昭和 57 年 4 月 東京歯科大学大学院卒業（衛生学）

昭和 58 年 3 月 海上自衛隊入隊

海上自衛隊横須賀地区病院歯科医長

防衛庁海上幕僚監部衛生企画室歯科担当衛生官

自衛隊舞鶴病院副院長兼歯科診療部長 等歴任

平成 6 年 4 月 Harvard Univ. Dental School; Forsyth Dental Center へ

Visiting Scholar として留学

平成 8 年 4 月 帰国 自衛隊佐世保病院副院長兼歯科診療部長に着任

佐世保地方総監部衛生管理官

海上自衛隊潜水医学実験隊実験第 1 部長を経て

平成 17 年 4 月 自衛隊中央病院第 3 歯科部長 現在に至る

歯科医師臨床指導医

日本口腔衛生学会指導医

日本スポーツ歯科医学会評議員